

2017年度 学生の学修時間・学修行動 実態調査の分析 (学業成績との関係を中心として)

分析対象者：2017年度1～4学年の学生 472名

回答状況：全学年合計 360/472名 (76.3%)

1学年 99/120名 (82.5%)、2学年 108/129名 (83.7%)

3学年 82/116名 (70.7%)、4学年 71/107名 (66.4%)

目次

1. 調査回答者概要 p.1
2. 授業への出席状況 p.2
3. 授業の出席理由 p.2
4. 授業の欠席理由 p.2
5. 勉学での困難 p.3
6. 勉学困難の理由 p.3-4
7. 勉学困難の克服方法 p.5
8. 一週間の過ごし方 p.5-6
9. 大学教育の満足度 p.7
10. 授業の有用性 p.8

作成日：2018年 5月 21日

担 当：医学教育センターIR部門

2017年度調査の回答者概要

席次別の回答状況および回答者の席次内訳

◆席次別（※）の回答状況

	回答	未回答	合計
席次高群	104 (88.1%)	14 (11.9%)	118
席次中高群	94 (80.3%)	23 (19.7%)	117
席次中低群	91 (77.8%)	26 (22.2%)	117
席次低群	71 (60.2%)	47 (39.8%)	118
合計	360 (76.6%)	110 (23.4%)	470

◆回答した学生（未回答者除く）の席次内訳

	1学年	2学年	3学年	4学年	合計
席次高群	28 (26.9%)	29 (27.9%)	25 (24.0%)	22 (21.2%)	104
席次中高群	27 (28.7%)	29 (30.9%)	23 (24.5%)	15 (16.0%)	94
席次中低群	22 (24.2%)	29 (31.9%)	21 (23.1%)	19 (20.9%)	91
席次低群	22 (31.0%)	21 (29.6%)	13 (18.3%)	15 (21.1%)	71
合計	99 (27.5%)	108 (30.0%)	82 (22.8%)	71 (19.7%)	360

※2017年度の席次データから、学年ごとに学生を分類した。

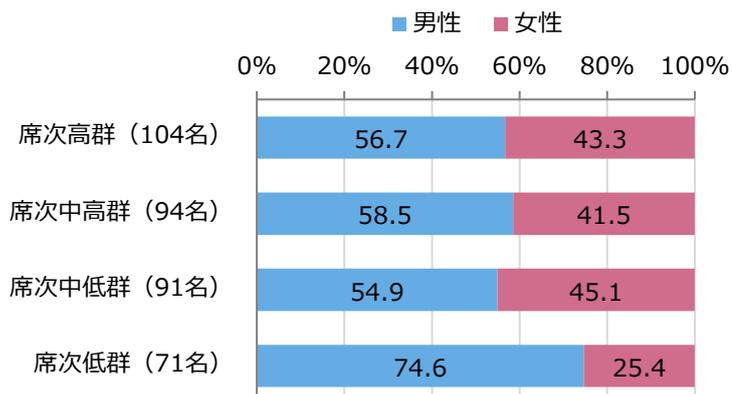
上位から25%ごとに席次高群、席次中高群、席次中低群、席次低群とした。

性別ごとの回答状況

	全学年		1学年		2学年		3学年		4学年	
	回答	未回答	回答	未回答	回答	未回答	回答	未回答	回答	未回答
男性	217 (74.1%)	76 (25.9%)	61 (79.2%)	16 (20.8%)	68 (80.0%)	17 (20.0%)	51 (69.9%)	22 (30.1%)	37 (64.9%)	20 (35.1%)
女性	143 (79.4%)	37 (20.6%)	38 (88.4%)	5 (11.6%)	40 (90.9%)	4 (9.1%)	31 (72.1%)	12 (27.9%)	34 (68.0%)	16 (32.0%)
合計	360 (76.1%)	113 (23.9%)	99 (82.5%)	21 (17.5%)	108 (83.7%)	17 (16.3%)	82 (70.7%)	34 (29.3%)	71 (66.4%)	36 (33.6%)

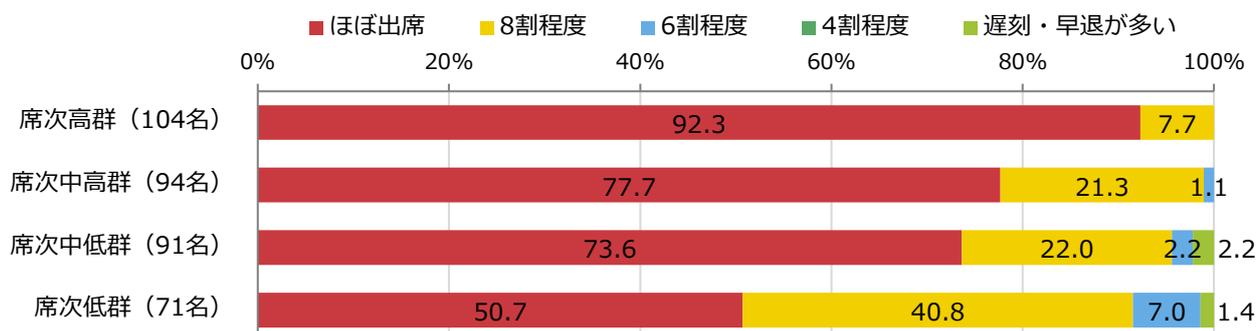
席次別の性別内訳（本調査回答者のみ）

	男性	女性	合計
席次高群	59 (56.7%)	45 (43.3%)	104
席次中高群	55 (58.5%)	39 (41.5%)	94
席次中低群	50 (54.9%)	41 (45.1%)	91
席次低群	53 (74.6%)	18 (25.4%)	71
合計	217 (60.3%)	143 (39.7%)	360

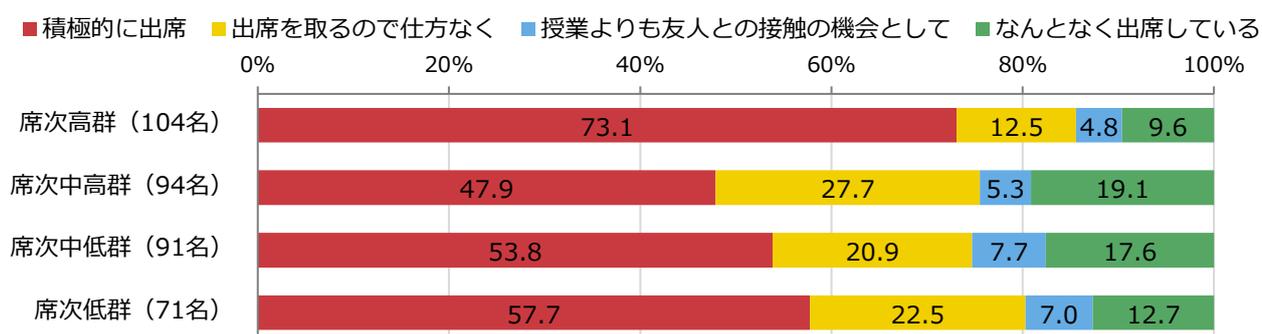


授業の出席状況・理由、欠席理由

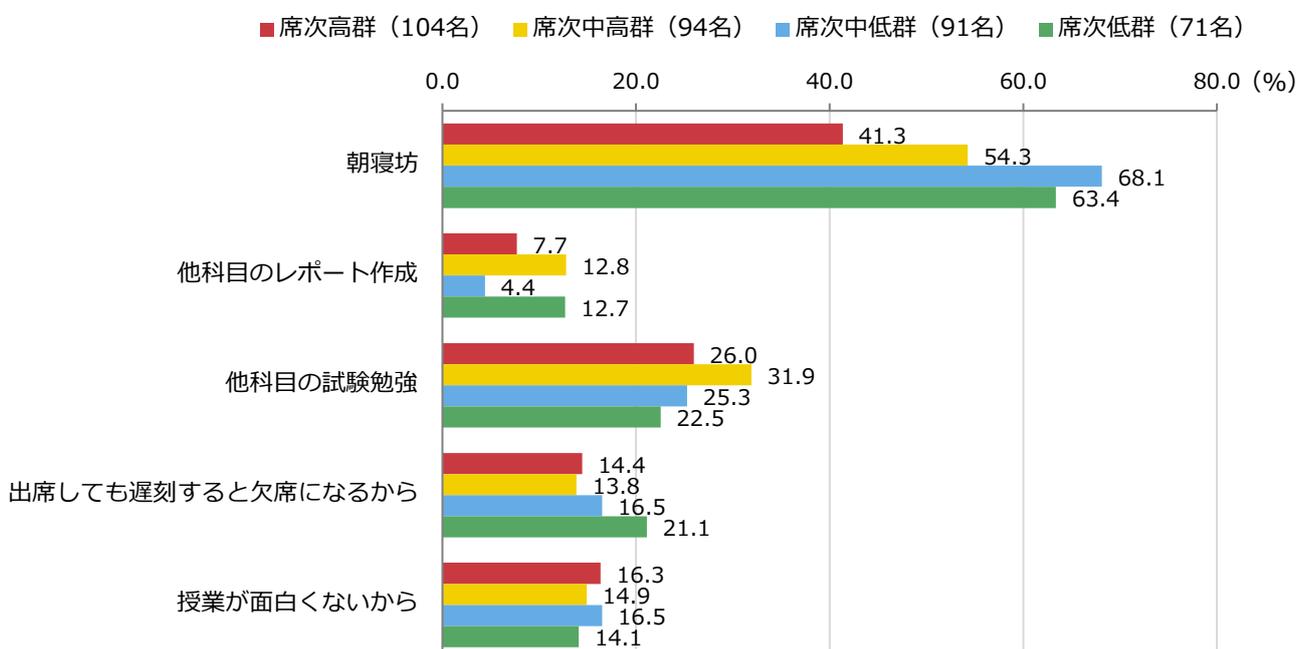
設問1. 「授業への出席状況について、以下の選択肢からご回答ください。」



設問2. 「授業出席の理由について、以下の選択肢からご回答ください。」

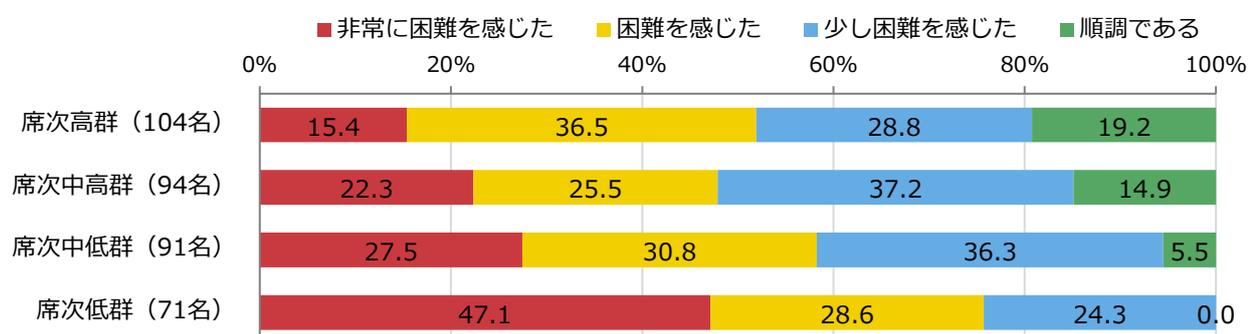


設問7. 「病気などの止むを得ない理由ではなく授業を休む場合の理由は何ですか。以下の選択肢からご回答ください。【複数回答可】」

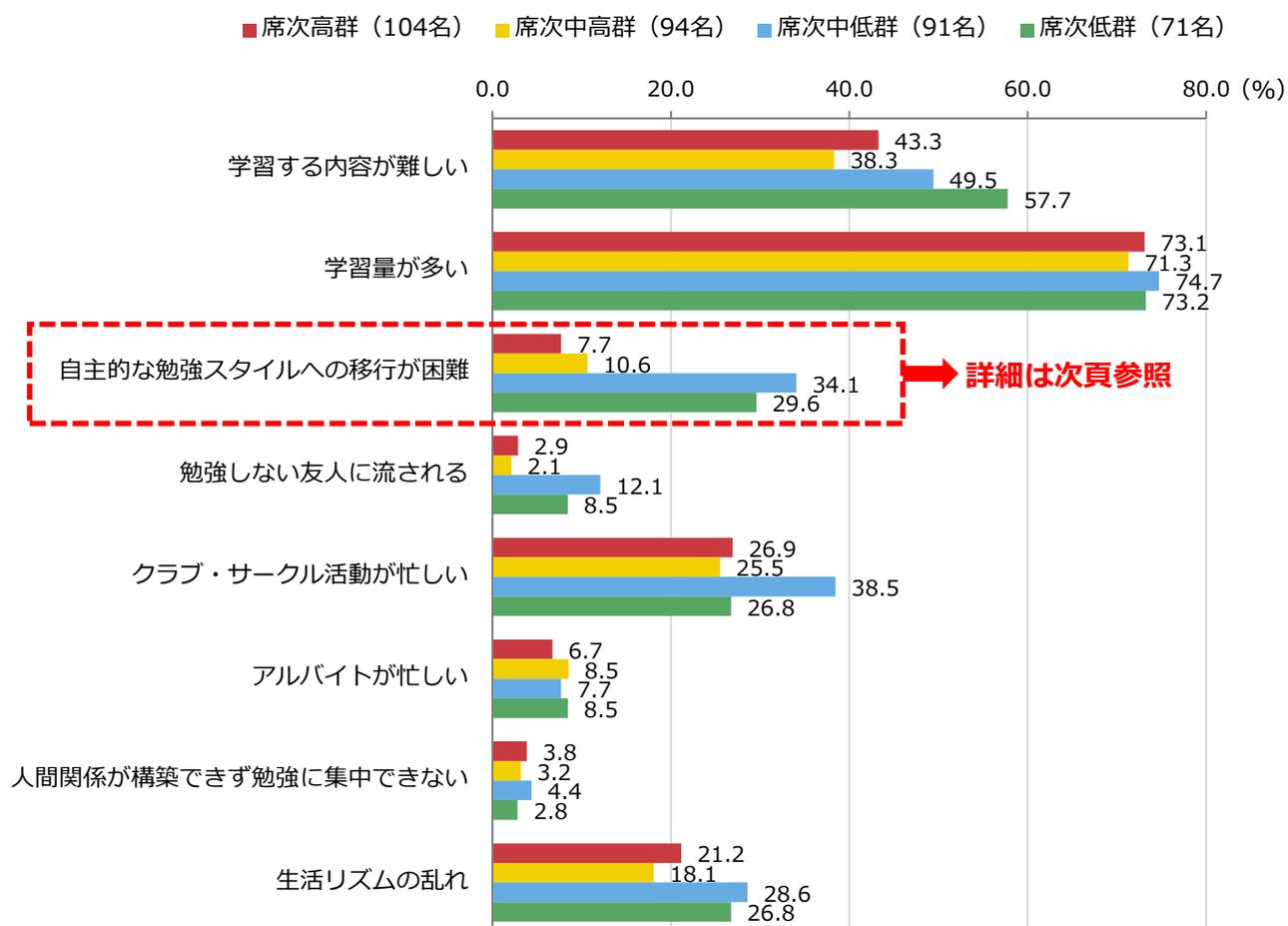


勉学での困難とその理由

設問12. 「大学入学以降、勉学に関してどの程度困難を感じましたか。以下の選択肢からご回答ください。」



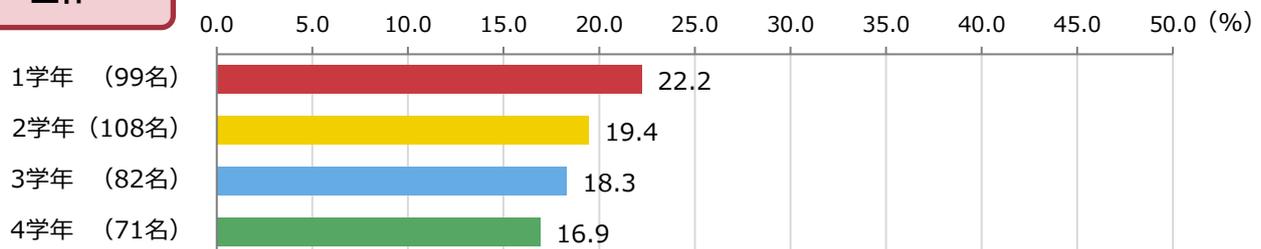
設問13. 「少しでも困難を感じた人は、その理由をどう考えていますか。以下の選択肢からご回答ください。【複数回答可】」



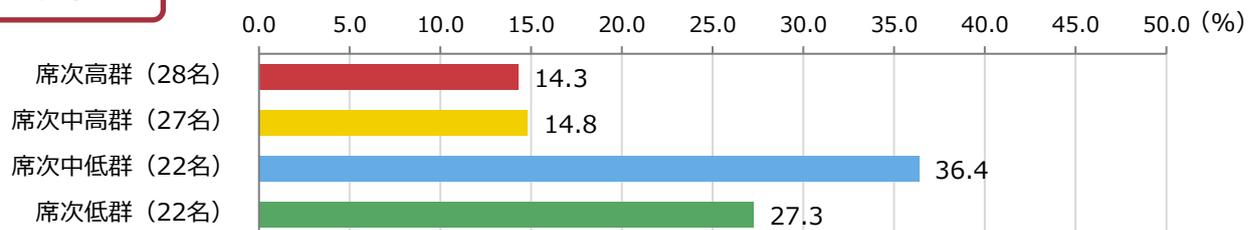
勉学困難の理由（「自主的な勉強スタイル」について）

設問13で、勉学困難の理由として「自主的な勉強スタイルへの移行が困難」を選択した学生の学年別回答状況（選択率）

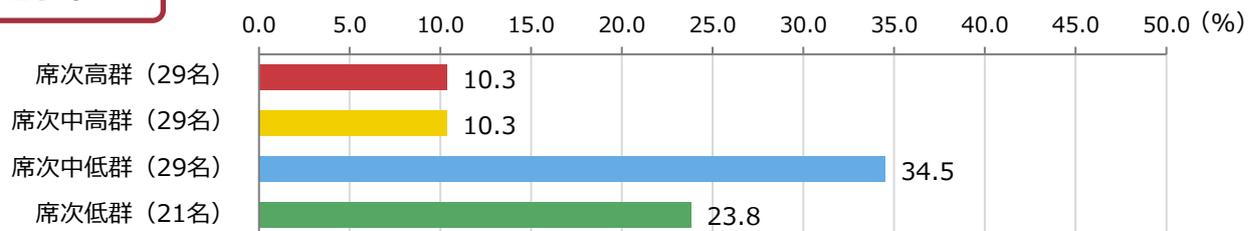
全体



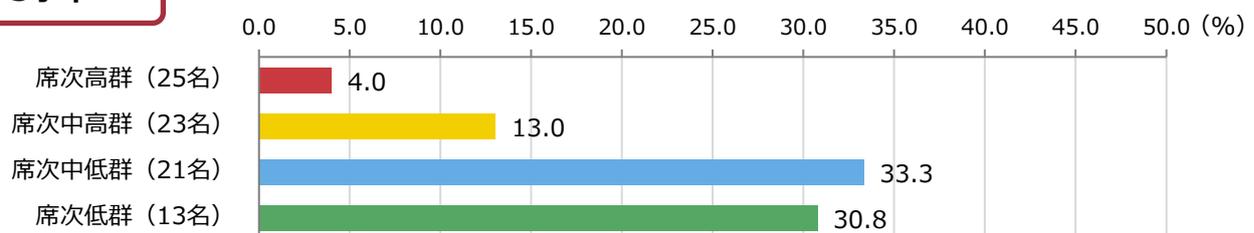
1学年



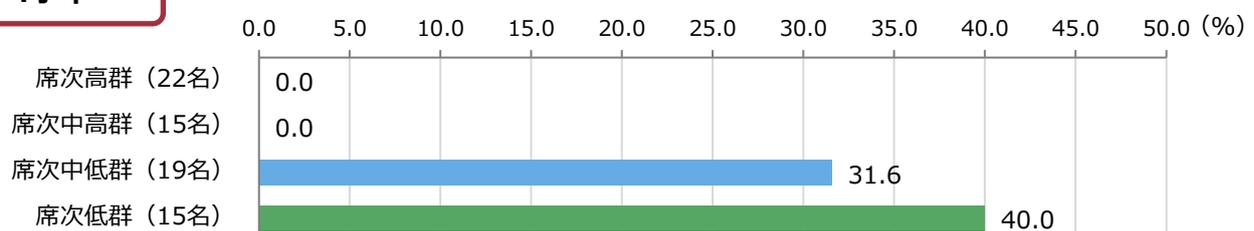
2学年



3学年



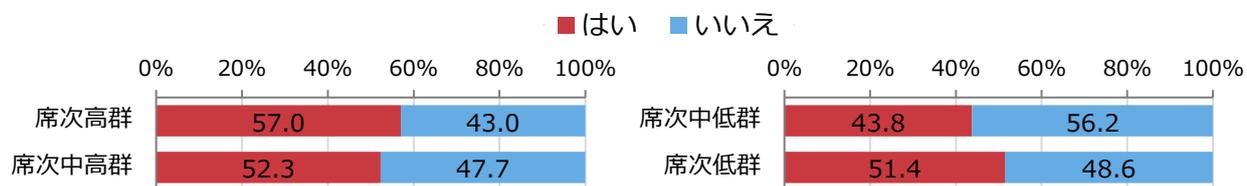
4学年



勉学困難の克服方法、一週間の過ごし方

設問14. 「少しでも困難を感じた人は、その困難を克服できましたか。」

設問15. 「克服できた人は、どのようにして克服できましたか。以下の選択肢からご回答ください。」（設問14で「はい」と答えた人のみ）



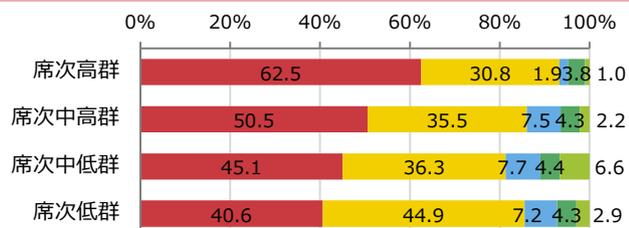
- 先輩や友人に助言を受けたり相談にのってもらった
- 先生に助言を受けたり相談にのってもらった
- 学生相談やカウンセリングを受けて
- 家族に助言を受けたり相談にのってもらった
- SNS等を通じて助言を受けたり相談にのってもらった
- 一人でなんとか



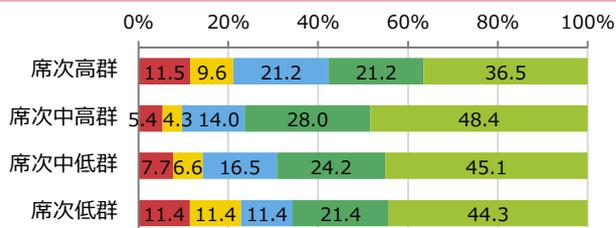
設問20~30. 「一週間の生活を振り返って、次の1) ~11) の活動にどれくらいの時間を費やしていますか（一週間の過ごし方）。以下の選択肢からご回答ください。」

- 30時間以上
- 20~30時間
- 10~20時間
- 5~10時間
- 5時間以下

1) 大学で授業や実習に参加する



2) 授業に関する勉強をする



3) 授業とは関係のない勉強を自主的にする

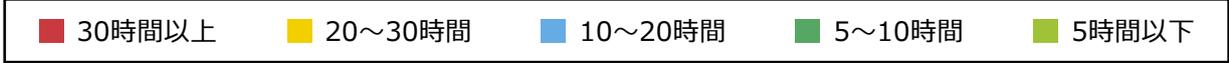


4) 友達と交際する



一週間の過ごし方

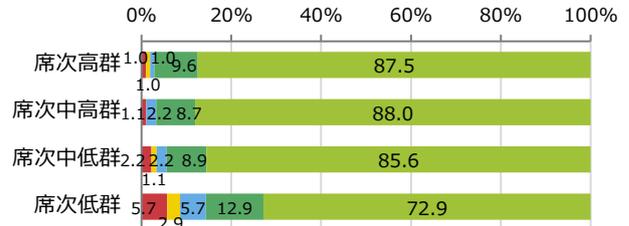
設問20~30.「一週間の生活を振り返って、次の1)~11)の活動にどれくらいの時間を費やしていますか(一週間の過ごし方)。以下の選択肢からご回答ください。」



5) クラブ・サークル活動をする



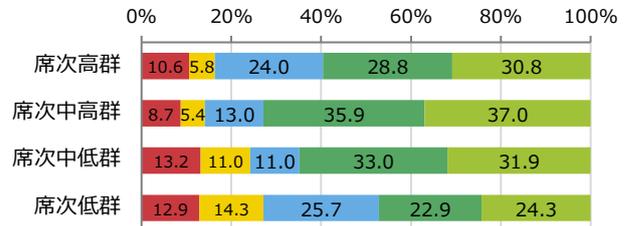
6) コンパや懇親会に参加する



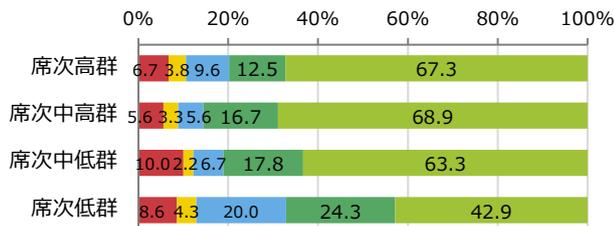
7) アルバイトをする



8) インターネットサーフィンをする (SNSを含む)



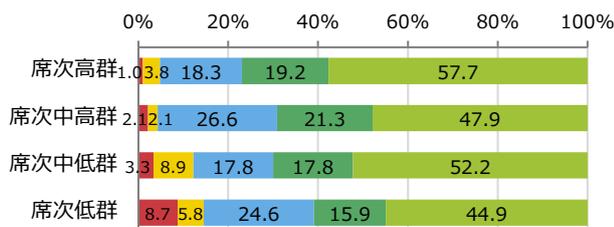
9) ゲームをする



10) 授業に関係のない読書



11) 通学

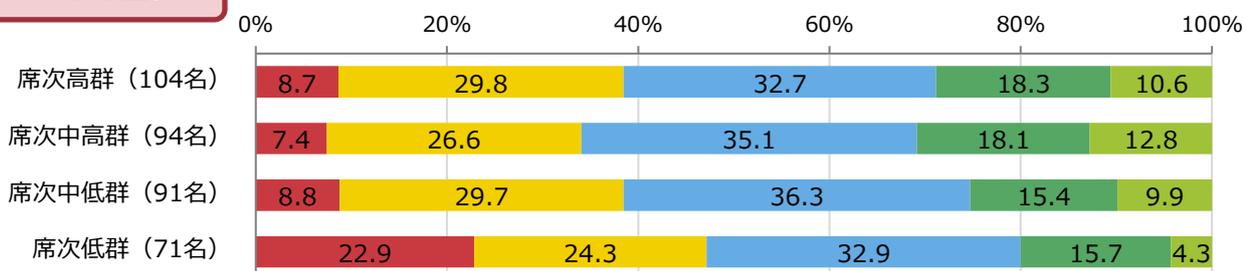


大学教育の満足度

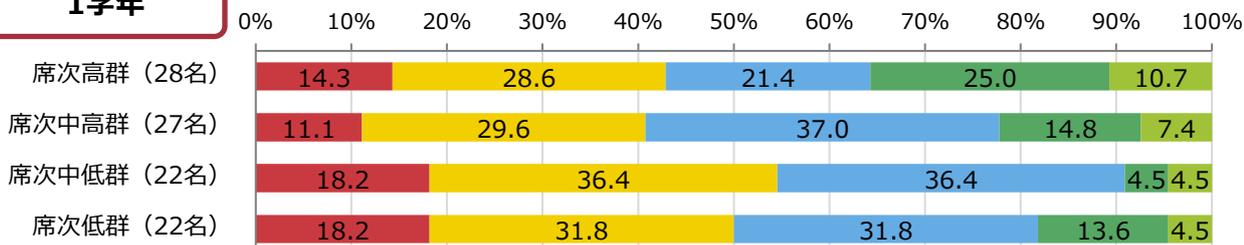
設問31. 「大学教育全体の満足度はどのくらいですか。」

- 満足している ■ どちらかという満足している ■ どちらともいえない
- どちらかといえば不満足である ■ 不満足である

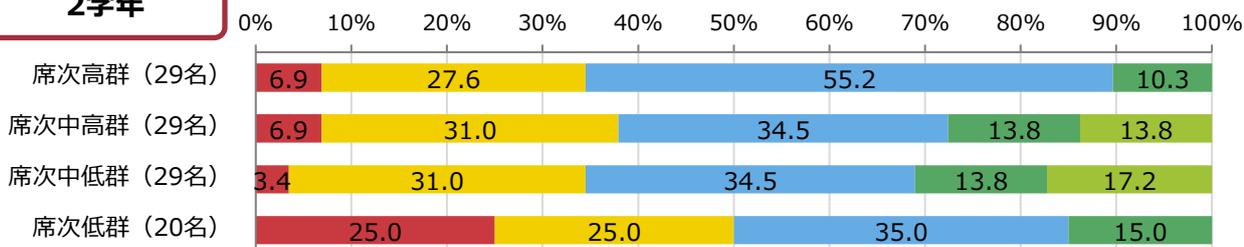
回答者全体



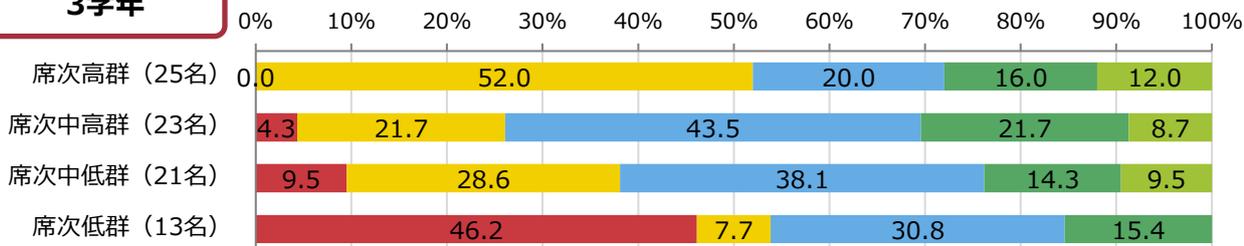
1学年



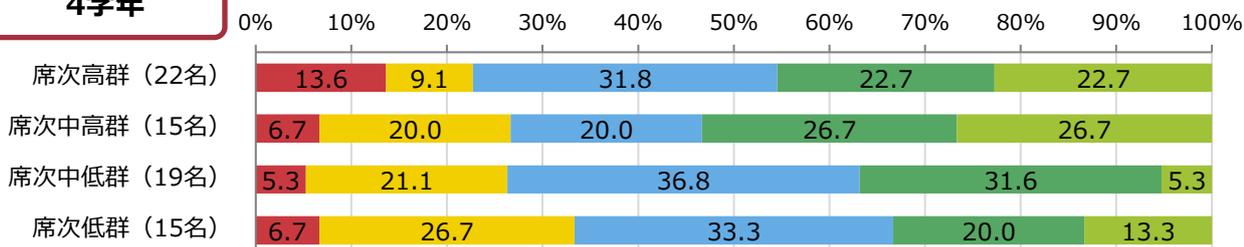
2学年



3学年



4学年



授業の有用性

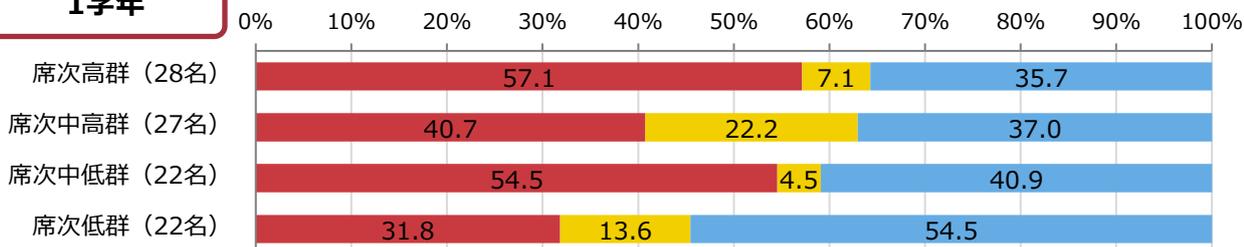
設問32. 「大学の授業は役立っていると思いますか。」

■ 役立っている ■ 役立っていない ■ わからない

回答者全体



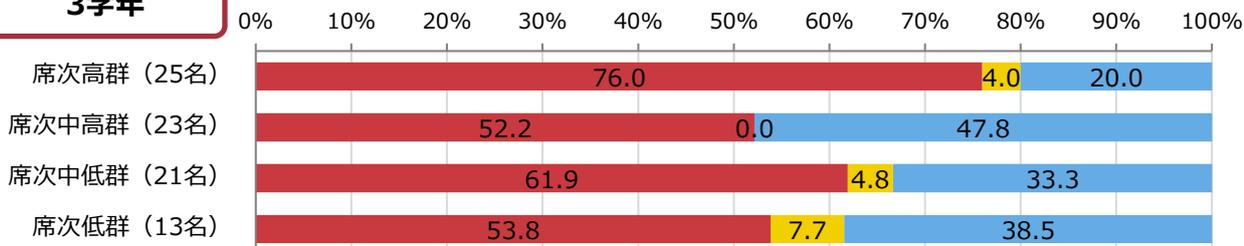
1学年



2学年



3学年



4学年

